

2021年10月11日

総合地所株式会社

ルネ麻布十番ビル

令和3年度 港区景観表彰「景観街づくり賞」を受賞

総合地所株式会社（本社：東京都港区、社長：関岡 桂二郎）は、この度、ホテルと店舗の複合商業施設「ルネ麻布十番ビル」において、「2020年度グッドデザイン賞」受賞に続き、令和3年度港区景観表彰「景観街づくり賞」を受賞いたしましたのでお知らせいたします。

港区「景観街づくり賞」は、良好な景観の形成に関して功績のあった民間の施設や活動を表彰することで、景観に対する意識の向上を図るとともに魅力ある街づくりを推進するため、平成23年度に創設されました。

「ルネ麻布十番ビル」は、東京中心部の商店街・麻布十番商店街に面した、麻布十番温泉跡地に建つホテル・店舗の複合商業施設です。敷地が面する交差点部は、元麻布から鳥居坂を結ぶ道路と商店街が交わる地域一帯の重要な都市ノード（結節点）として地元の憩いの場所でもあった地に、活力溢れる商店街の界索性と地域のランドマーク性を兼ね備えた公共性の高い空間をデザインしました。地域特性を読み解きながら、敷地に接する交差点部を広場のようなオープン空間として創出致しました。画一的で経済効率を優先した計画による表層的なデザインから距離を置き、街の顔を担う都市施設として捉え、「都市ノード（結節点）の再興」を目指しております。

総合地所株式会社は、「街と暮らしの未来のために」をモットーに、今後も変容する地域と暮らしの在り方を見据え、未来に継承する価値を創造して参ります。



■審査委員コメント

審査委員コメント①

周囲はどこか懐かしい雰囲気を持つ商店街である。ここでのホテル新築に、こんな選択肢があったのかと驚いた。中でも、暗闇坂に続く通りと麻布十番通りとの交差点に隣接させた低層部の扱い方が、この街への対応として秀逸である。この低層部をテナントスペースとして街に開き、屋上部はテラスラウンジとしてホテル2階のレストランと連絡させている。このテラスラウンジは、オアシスのようにこの街に新たな眺望点と居場所を創出した。テラスラウンジのスラブ線をホテル1階の軒線と意匠的に一貫させているのも小気味良い。

審査委員コメント②

港区に長く住んでいると、商店街から店舗が消え、賑わいが失われていく様子を幾度となく目の当たりにする。麻布十番商店街の角地という敷地の意味はとても重要である。交差点に隣接して低層の店舗を配置し、街の賑わいと新たな居場所を提供している。航空写真で見ると建てづまった印象もあるが、グランドレベルからはそれを全く感じさせない清々しさがある。敷地の可能性と建物のデザインが調和し、相乗効果により街の魅力を高めている。

※ 「港区景観街づくり賞」公表ページ

<https://www.city.minato.tokyo.jp/matizukurikeikakutan/keikanmachidukurisyou.html>



■ 物件概要

種別	ホテル・店舗(複合商業施設)
所在地	東京都港区麻布十番1丁目5-23(住居表示)
交通	東京メトロ南北線・都営地下鉄大江戸線「麻布十番」駅より徒歩3分
敷地面積	740.67 m ²
延床面積	3,365.56 m ²
完成時期	2019年8月27日
設計会社	株式会社長谷工コーポレーション一級建築士事務所(実施設計) A.A.E.一級建築士事務所(基本設計・デザイン監修)
施工会社	株式会社長谷工コーポレーション